

平成26年度 2学期末学校評価まとめ

1 教育活動の各領域についての評価（数値化/5点）

(37人分)

教育課程	3.86	年間行事	3.78	校務分掌	3.43	現職教育	4.03	道徳教育	3.58		
特別活動		学級活動	3.49	児童会活動	4.03	クラブ	3.76				
教育環境		メディア	3.38	校内放送	3.19	図書館教育 朝の読書	3.95	スペース活用・掲示	3.78		
		清掃	3.68	緑化	4.16	飼育	3.70				
生徒指導	3.81	教育相談	3.89								
健康安全		体力づくり	3.84	保健衛生指導	3.78	警備防災計画	3.59	食に関する指導	4.05		
人権・同和教育	3.78	特別支援教育	3.92	総合学習	3.57	外国語活動	4.49	環境教育	3.35	国際理解教育	3.57
キャリア教育・ 職場体験	3.41	児童 ボランティア活動	3.81	人材活用 コーディネイト	3.59	保護者 ボランティア活動	4.40				

昨年度と比較して変化があった項目（±0.15以上）

- ・児童会活動（+0.17）
- ・生徒指導（+0.21）
- ・食に関する指導（0.24）
- ・校内放送（-0.28）
- ・体力づくり（-0.18）
- ・警備及び防災計画（-0.19）
- ・総合的な学習の時間（-0.15）
- ・人材活用コーディネイト（-0.16）

2 各領域についての意見（略）

3 教職員から出た意見についての改善点及び検討事項

分 掌	改 善 点 及 び 検 討 事 項
校務分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・主任またキャップになっている人だけの仕事にならないよう、チームとして動く。（チーム内での相談・連絡） ・できるだけ仕事の分担に偏りが無いよう配置（来年度に向けて）
校内放送	<ul style="list-style-type: none"> ・放送機器設備の整備
現職教育	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の抱える実状や課題に照らし合わせて、来年度の研究テーマ、取り組みの重点等の構想計画を作成 ・外国語活動に関する研修を入れる
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・English Time の運営について 発達段階にあわせての実施、担当者、学級による温度差 ・来年度の年間計画の作成 学年ごとに担当を決め、学年間の重なりや時期等について確認 ・教材の整備 今年度までに作成したものを十分に活用できるようにする。

生徒指導・不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ・登校していない児童への連絡体制の共通理解と実施 まず、学級担任→学年団→担当→管理職 ・学級担任，担当，養護教諭や管理職等との連携の在り方 チームとして対応。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化担当がチームとして仕事に取り組む。 ・各学年団や学級ですべきことを明確にして取り組む。
図書館・読書	<ul style="list-style-type: none"> ・学習情報センターとして機能させるためのときめき広場の環境整備 ・読書ビンゴ等，取り組みのマンネリ化への対策
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・通級対象児童の決定について 対象児童の実態，対応できる教員の確保（人数・時間・スペース） ・特別支援学級の環境整備（学用品や備品の不足） 計画的に備品購入を申し出 PTA 会計の教育活動費の中で予算化
修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省をもとにスケジュールを立てる。 来年度の時期は決定済み。スケジュール
交通指導	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導の徹底…特に下校時の歩き方，自転車の乗り方 自転車の乗り方について法改正があった点についても指導 自転車ワッペンの使用やヘルメット着用についても 親子での交通教室実施検討 4年（自転車教室に合わせて）6年（中学進学を控えて） ・交通ルール暗証チャレンジの継続 児童の参加の仕方
学級目標・個人目標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の実施が負担になっている点の情報確認 ・称賛の仕方も検討